

研究開発活動

クルマ通信

V2Xで全てのモノをクルマにつなげる



次世代コネクテッドカーを無線・通信でつなげる技術の研究・開発しています。クルマとクルマ、クルマと路側機だけでなく、全てのモノがクルマにつながって行きます

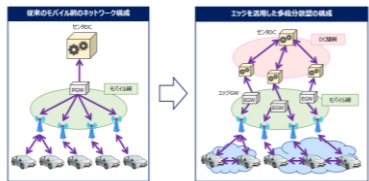
次世代コネクテッドカーに向けた通信実証実験



次世代コネクテッドカーに必要な無線方式・通信アルゴリズムの実証実験。実際の交通流・道路環境を模擬したテストコースや実際の道路で行っています。

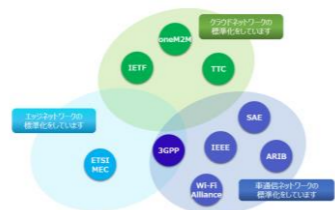
ネットワーク

コネクテッドカーの進化を支える次世代ネットワークの技術開発



車両とデータセンター間でやり取りされる膨大なデータ量を収容するために、必須となる次世代ネットワークの技術開発・規格化・検証を行っています。

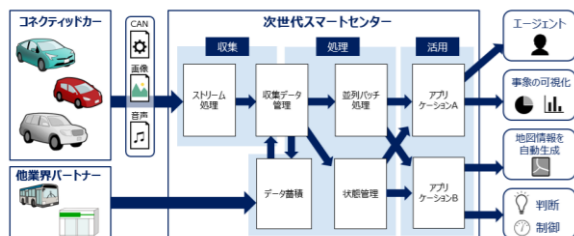
次世代クルマ通信/ネットワークに向けた標準化活動



クルマの「つながる」があたりまえの未来になるように、各種通信コミュニティにおけるユースケース・要求条件の提案、開発技術の規格化活動を行っています。

次世代スマートセンター構築

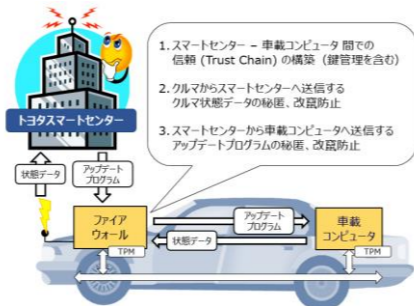
次世代スマートセンター・アーキテクチャ提案



車からの情報を集約する次世代スマートセンターを構築・運用するために必要な技術開発・検証、アーキテクチャ提案を行っています。

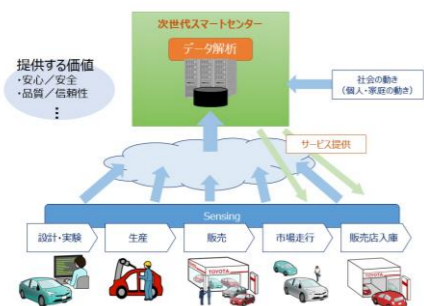
サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティ技術の研究開発



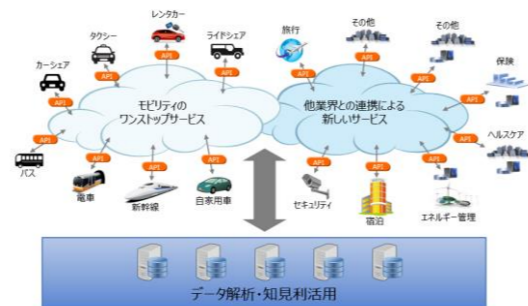
将来のクルマが提供する「つながるサービス」の実現に必要なサイバーセキュリティ技術の研究開発および標準化活動を行っています。

ビッグデータ活用



クルマの設計・実験/生産/販売/市場走行/販売店入庫時に得られる大量のデータを、統計的機械学習や深層学習を用いて解析し、クルマの品質向上や安心・安全に役立つ情報を抽出する技術に取り組んでいます。

モビリティサービス・プラットフォーム



新しいサービスの創出、知見の活用を実現するための、モビリティサービス・プラットフォームアーキテクチャの研究開発を行っています

株式会社トヨタ IT 開発センター
TOYOTA InfoTechnology Center Co., Ltd.

Corporate Profile



会社基本理念

会社の姿勢

変化を先取りしたIT（情報通信技術）の研究・開発に努め、新しい技術・価値の創造を目指す。
 グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長を目指す。
 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて国際社会から信頼される企業市民を目指す。

会社の使命、ミッション

旧来の価値観、慣習などにとらわれず、主体的、積極的に課題に挑戦し、様々なステークホルダーと一体となり、IT（情報通信技術）を活用して、豊かで、夢のある新しいモビリティ社会の実現に貢献する。

企業風土

互いの人間性を尊重し、相互信頼・相互責任を基本に、一人ひとりが高い専門能力を持ち、人間として成長・進化し続け、組織としての力が最大限に発揮される活力ある企業風土をつくる。

研究開発ビジョン

将来の「Mobility Society with the Connected Car」の実現に向けて

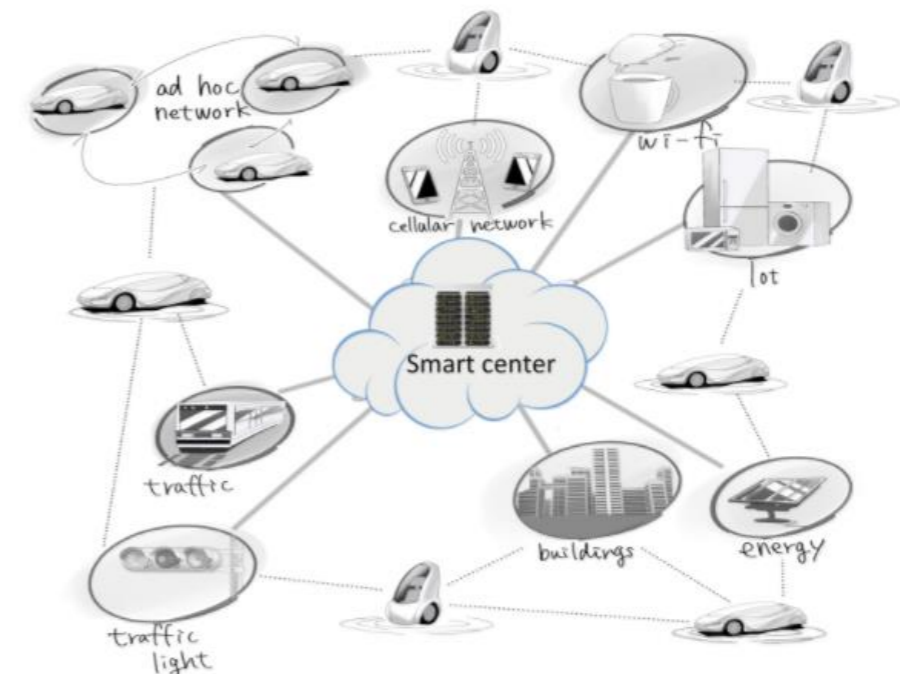


Connectedによるクルマやモビリティ社会の新価値創造を目指しています

会社概要

日本 (本社)		米国 (子会社)	
商号	株式会社トヨタIT開発センター	商号	TOYOTA InfoTechnology Center, U.S.A., Inc.
設立	2001年1月12日	設立	2001年4月2日
資本金	17億2672万8000円	資本金	610万U.S.ドル
役員	代表取締役社長 今井 孝志 取締役 酒井 亮二	役員	President & CEO 今井 孝志 Executive Vice President & COO 谷口 真一 Senior Vice President & CFO 折居 章雄
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂6-6-20 Tel: 03-5561-8200 / Fax: 03-5561-8290	所在地	[HQ] 465 Bernardo Avenue, Mountain View, CA 94043 [NY] 21 West 46th Street, Suite 701, New York, NY 10036
株主構成	トヨタ自動車株式会社 100%	株主構成	株式会社トヨタIT開発センター 100%
事業案内	ITに関する技術・機器・ソフトウェア等の調査、研究、開発、評価 ITに関する市場・ビジネスモデル等の調査、分析、計画 ITに関する産業財産権・ノウハウ		

モビリティサービス・プラットフォームを支える要素技術



「モビリティサービス・プラットフォーム」を実現する先端要素技術の応用研究を行っています